



令和6年度「船上山スキルアップセミナー①（体験編）」実施報告書

I 事業の概要

1 期 日 令和6年6月1日（土）～2日（日）



2 日程

6月1日（土）		6月2日（日）	
10:00	受付開始	6:30	起床
10:30	出会いのつどい・オリエンテーション	7:00	朝のつどい
11:15	アイスブレイク	7:20	そうじ
12:00	昼食	7:45	朝食
13:00	ダム湖活動（カヌー・いかだ）	8:45	退所点検
15:30	帰所・シャワー・休憩	9:00	野外イニシアチブゲーム
16:30	室内イニシアチブ（IH程度）	10:15	ピザ作り（説明）
18:00	夕食	10:30	ピザ作りスタート
19:00	主催事業紹介	13:15	片付け完了
19:30	ロールプレイ（子ども達との関わり方について）	13:30	振り返り
20:30	情報交換会	14:00	解散・出発
21:30	入浴		
22:30	消灯		

3 ねらい

- ・学生たちが船上山少年自然の家の主催事業「ちっちゃい探検隊（夏）」についての理解を深める。
- ・ちっちゃい探検隊へとつなげていくために、少年自然の家の様々な活動プログラムを体験する。
- ・グループでの体験活動を通して、学生同士の親睦を深める。



4 参加者数

スキルアップセミナー①（体験編）20名

（鳥根大学16名、鳥取環境大学2名、鳥取大学1名、学校法人角川ドワンゴ学園エス高等学校1名）



II 実施状況

昨年は日帰りで行ったスキルアップセミナー①（体験編）。今年度は、1泊2日とじっくりと腰を据えて開催することができた。

初日はまず交流レクリエーションを行ったあと、ダム湖でカヌーやいかだ体験を行った。その後、ちっちゃい探検隊でよく行うイニシアチブゲームを行った。ここでは、ただゲームを体験するだけでなく、ゲームが上手いかなかったときに、子どもたちにどのような声掛けを行ったらよいかを考えてもらった。



夕食後は、「子どもたちとの関わり方」について、ちっちゃい探検隊へつなげることを意識して、ロールプレイを行った。泣いている子どもへの対応や班から抜けて勝手な行動をとる子への対応など、実際に起きそうな場面についての対応を考え、意見を交換し合うことができた。グループ内で、それぞれの考えを共有し合うことができ、充実した時間となった。

2日目は野外でのイニシアティブゲームを行ったあと、ピザ作り体験を行った。ちっちゃい探検隊(夏)を想定し、実際にこねたり、ダッチオーブンを使ったりして焼いていただいた。美味しそうなピザが焼き上がり、学生も満足そうであった。

スキルアップセミナー①(体験編)に参加した学生のうち、ちっちゃい探検隊(夏)に参加する学生が5名あった。短時間ではあるが、5名の学生と、ちっちゃい探検隊(夏)のコンセプトや役割を確認することができた。どの学生も大変前向きで、意欲的であった。また、スキルアップセミナー②(企画編)にも興味をもった学生も見られた。ちっちゃい探検隊(夏)やスキルアップセミナー②(企画編)につながるセミナーになったと感じた。

Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・今回初めてスキルアップセミナーに参加してみて、学生の立場から子ども達のことを考えて活動を理解したり、実際の状況を想定して対応したりすることができた。2日間を通して、班の人と意見を交わす中で、自分では思いつかない発想や考え方を聞くことができ、自分の考えの幅が広がった。ここで学んだ考え方を他の体験活動で意識して子ども達と関わっていきたい。
- ・カヌー体験やイニシアティブゲームをすることで、子どもの追体験をすることができた。その中で、子ども達にとって、危ない場面や難しいことを今回学ぶことができた。子どもがいないときに、じっくりと学ぶことができた。様々な場面や状況を考えたときに、他の参加者の意見を聞ける機会はとても貴重だと感じた。活動の目的を見失わないように、適切な声掛けをしていきたい。



2 成果

- ・初めて船上山少年自然の家に来られた学生が多くあったので、イニシアティブゲームやピザ作りなどの活動を知ってもらい、ちっちゃい探検隊(夏)につなげることができた。
- ・子どもたちとの関わり方について、3つのグループに分かれてのロールプレイに効果を感じた。学生サポーターからも、自分には無い考え方の視点を学ぶことができ、子ども理解が深まったという感想をいただいた。今後も継続していきたい。
- ・情報交換会では、和やかな雰囲気の中で、本主催の参加動機を聞く機会を設けたことで、それぞれの背景を知ることができ、学生サポーターと職員との距離を縮めることができた。



3 課題

- ・スキルアップセミナー①(体験編)では、多くの学生サポーターに参加していただくことができたが、引き続きスキルアップセミナー②(企画編)にも参加していただけるように、主催事業のたびにPR活動を行っていききたい。
- ・島根大学から多く学生が参加してくれたが、反面、県内大学からの参加が少なかった。県内からも多くの学生が参加できるように関係諸機関と連携して参加を呼び掛けたい。

